

2025年度業務実績報告書

提出日 令和8年1月18日

1. 職名・氏名 教授・法木 左近

2. 学位 医学博士（甲）、専門分野 病理学、授与機関 福井医科大学、授与年 1990年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 医学概論（2単位） 1年
②内容・ねらい 内容：社会福祉士として必要な人体の構造と機能および疾病について、医学の学問体系に沿って解説した。具体的には、骨学、筋肉学、組織学、解剖学、そして病理学として炎症、循環障害、腫瘍などを分かりやすく説明した。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近な話題や映画・文学などと関連づけて説明した。また、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 病気・人間・社会（2単位） 1年
②内容・ねらい 内容：新カリキュラムによる「生涯発達学」の読み替え科目である。また、道信先生とオムニバス形式の講義であり、前半5回を道信先生が担当し、後半10回を私が担当した。私の担当分では、先天異常と染色体異常・遺伝病、小児の発達、生活習慣病（糖尿病・悪性腫瘍）、脳卒中、認知症、神経変性疾患、老年医学、障害（生活機能分類）などの医学的な疾患知識とそれに関する社会との関係について、分かりやすく説明し、受講者にも考えてもらうような問を設けた。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近なニュースや映画・文学などと関連づけて説明した。また、デジタル授業のひとつとして、疾患の病理組織標本のバーチャルスライドを用いた実習を行い、疾患の理解を深めた。また、冬季では、積雪などの影響を考慮して、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 入門演習（1単位） 1年
②内容・ねらい 内容：卒業論文を執筆するための文献の検索法や論文・レポート作成法、プレゼンテーションの技術などを説明し、各自が課題を設定しそれに対して、調べたことや考察を発表してもらい、また、論文レポートにまとめて提出してもらった。また、皆の前での発表の練習として、ビブリオバトルを開催し、各自の研究テーマについてもパワーポイントを用いて発表し、意見を述べ合った。 ねらい：今後の論文・レポート作成の基礎として、文献を検索できるようになり、それをもとにある程度まとめた文章を作成すること、および人前で発表することを目的とした。また、

多くの人と意見を出し合うことも経験してもらう。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 文献検索や論文レポートの書き方など基礎的な内容は講義形成で説明するが、それ以降は各自が実際にできるように時間に余裕も持たせた。冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 病態生理学（2単位） 2年（看護学科）
②内容・ねらい 内容：先天異常、遺伝疾患、染色体異常、多因子遺伝、壊死、変性、萎縮、蛋白質代謝障害（ネフローゼ症候群、尿毒症）、糖尿病、黄疸、循環障害および充血、うっ血、虚血、血栓、塞栓、梗塞、DICなどの用語の理解、炎症論、免疫とは、感染症、腫瘍総論など ねらい：看護師国家試験に回答できるようになること、病院内での患者に関する情報交換の内容が理解できるよう医学用語を正しく理解すること、患者の病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。2020年度はコロナのため顕微鏡実習ができなかったが、例年、1、2回の顕微鏡実習を取り入れ、炎症細胞や腫瘍細胞を観察する。講義では、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。また、冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（4単位） 4年（社会福祉学科）
②内容・ねらい 内容：教員の研究分野に関わらず学生の興味ある分野について可能な限り指導した。特に、研究テーマ、学問的な問い、先行文献の検索、研究の方法論、論文の執筆について指導した。具体的には、4名の学生の卒業研究論文「虐待を受けた子どもの食育支援～自立支援施設の現場から～」 「糖尿病患者へのフットケアと家族支援」 「日本とインドの文化の違いと糖尿病患者～食文化・宗教・医療制度の違いが糖尿病患者の生活習慣及びQOLに与える影響～」 「京都の信用金庫DX化と高齢化社会への影響と対応」を指導した。 ねらい：今後の社会にでても、論文・レポート・報告書などの作成の基礎として、文献検索・評価・構成などができ、それをもとにまとめた文章を作成すること、および人前で発表することを目的とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 4年生であり、就職活動も並行して行っているので、時間的な束縛は極力無くし、学生の主体にまかせ、困った点などの解決方法について指導・支援を行った。また、論文の構成や文章の校正については細かく指導した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 保健・福祉研究方法論（2単位） 大学院修士課程1年
②内容・ねらい 内容：研究の意義となりたち、研究における概念、変数について、実験的研究と非実験的研究、量的研究と質的研究、文献の検索とクリティーク、統計的な方法などを教授する。 ねらい：研究をしていくうえでの基本的な用語や概念などの習得と、自身の研究へ活かせるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生の人数も少ないので、気楽に質問ができるように質問タイムを多く設けた。学生の研究目的になるべくあった内容を心掛けた。受講生は社会人が多いので、遠隔授業で行った。 博士課程の授業と共同で、ゲストスピーカーに福井大学特命教授の樋口先生を招いて「研究

に必要な知的財産の基礎知識」を開催した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
現代福祉問題論（2単位） 1年（社会福祉学科）

②内容・ねらい
内容：社会福祉学科1年生の必修科目であり、社会福祉学科の教員によるオムニバス授業のうちの5月19日分の1回を担当した。内容は「染色体異常とNIPT 新型出生前診断」である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
配布プリントを用意して、理解が深まるように努めた。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
生物学序説（2単位） 1年（恐竜学部）

②内容・ねらい
内容：恐竜学部1年生の必修科目であり、大石教授とのオムニバスでの授業である。大石先生10回、私が5回を担当した。内容は、ヒトの組織学、骨学、腫瘍総論の基礎であり、これらは恐竜学を学んでいく際の基礎となると考えたからである。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
ヒトの骨学については、人体骨格の模型使って、実際にスケッチをさせて骨の各部位についての名称を理解させた。

(2)その他の教育活動

内容

1. 解剖学体験（恐竜学部1年） 令和7年12月～

内容：単位とは関係ないが、恐竜学部1年生の有志（希望者）に対して、タヌキなどの骨格標本を作製する体験実習の副担任として参加した。

2. 放送大学 「病気の理解と分類ー病理学総論ー」面接授業 令和7年11月8日・9日

内容：本講義では、医者が病気をどのように理解しているかを、誰でも理解できるように解説した。病気を「先天異常、炎症、変性疾患、腫瘍」に分類し、それぞれについて説明した。病気の「本質」を知るための病理学総論の入門講座。

3. 社会福祉士国家試験対策講座（主催：福井県社会福祉士会・本学）「医学概論」（社会福祉学科4年＋一般） 令和7年12月18日

内容：本学、社会福祉学科4年生および国家試験受験者に対して、社会福祉士国家試験の科目である「医学概論」について、出題傾向、対策と予想問題などを解説した。

4. 海堂尊特別講義（社会福祉学科1年＋教職員） 令和7年7月10日

内容：本学の客員教授であり作家の海堂尊氏の特別講義「福井県の温故知新 恐竜、蘭医学からAi（オートプシー・イメージング：死亡時画像診断）まで」を企画した。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書・監修	【0 本】
② 学術論文（査読あり）	
1. Yoshimiya, M., <u>Noriki, S.</u> , Shimbashi, S., Uesaka, H., & Hyodoh, H. (2025). Postmortem changes in porcine eyes on computed tomography images. <i>Legal Medicine</i> , 73, 102568. 2. Yamada, S., <u>Noriki, S.</u> , & Ishida, H. (2025). Use of a Dermatophyte Antigen Kit as a New Rapid Screening Test for Feline Dermatophytosis. <i>Medical Mycology Journal</i> , 66(3), 151-155. 3. <u>Noriki, S.</u> , & Ishida, H. (2025). Histopathological findings of dermatophytoma using the alginate method: Investigating the potential for mixed infections of fungi and cocci beneath the nail bed. <i>The Journal of dermatology</i> , 52(6), e541-e542. 4. Shimbashi, S., Yoshimiya, M., <u>Noriki, S.</u> , & Hyodoh, H. (2025). Diagnosis of cardiac rupture using PMeCT by direct large-vessel puncture and CT-guided biopsy: A case report. <i>Legal Medicine</i> , 102683. 5. 宋 美紗(伊丹市立伊丹病院 病理診断科), 萩原 章, 土井 章久, 細井 慶太, 木村 勇人, 千田 義和, 法木 左近 ホルマリン固定肺を MR で撮影したびまん性肺胞障害の一部検例(原著論文) 市立伊丹病院誌(0917-0634)40 号 Page8-14(2025.03)	
	【5 本】
③その他論文（査読なし） 特になし	【0 本】
④ 学会発表等	
1. 白癬菌抗原キット 石田久哉、 <u>法木左近</u> 第 41 回日本臨床皮膚科医総会・臨床学術大会（金沢市）・シンポジウム白癬の診断を再考する（令和 7 年 4 月 5 日） 2. Trichophyton indotineae による体部白癬の 1 例 石田 久哉, <u>法木 左近</u> , 安澤 数史, 竹田 公信, 清水 晶, 望月 隆 日本皮膚科学会第 485 回北陸地方会（金沢市）（令和 7 年 6 月 22 日） 3. 硬変の経過中に急性脳梗塞を発症した一部検例 宋美紗 木村勇人、萩原章、 <u>法木左近</u> 第 23 回オートプシーイメージング(Ai)学会学術大会（米子市）（令和 7 年 8 月 23 日 24 日）。	

4. 白癬菌による類上皮肉芽腫リンパ節炎の極めて稀な一例

前田 さき, 井村 穰二, 法木 左近, 木下 麻優子, 石田 和之

第75回日本病理学会秋期特別総会（名古屋市）（令和7年11月13日14日）

5. 福井県におけるAiセンターの創設

法木左近

Ai情報センターシンポジウム「Aiセンターが日本社会にもたらすもの」

（福井市・福井県国際交流会館）（令和7年5月17日）

【5件】

⑤ その他の公表実績

1. TeSH - Tech Startup HOKURIKU -大学発新産業創出基金事業 プレミアムセッション動物白癬菌キットの社会実装」令和7年8月1日（金沢市・ANA グランドホテル）

2. TeSH - Tech Startup HOKURIKU -大学発新産業創出基金事業 DEMO Day 動物白癬菌キットの社会実装」令和7年11月14日（金沢市・ANA グランドホテル）

3. 第19回ゼゼ会臨床研究会・第29回ゼゼ会セミナー 特別講演「私らはたたずむであらう霧のなかに一私の研究」令和7年8月30日（福井市・福井パレスホテル）

【3本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

1. TeSH - Tech Startup HOKURIKU -大学発新産業創出基金事業 Step.1「動物白癬菌キットの社会実装」（令和7年度）

2. 科学研究費 基盤研究（A）「新興感染症から医療者安全を確保する遠隔ロボット解剖解析法構築に医工連携で挑む」分担研究者（令和7年度から令和9年度）

【学内】

3. 戦略的課題研究推進支援「ヒト血清中のグルコサミン定量」（令和8年度）

4. 看護福祉学部 研究費〔KF 枠研究費〕「横隔膜病理学：新たな視点からの病態解」（令和7年度）

(3)特許等取得

(4)学会活動等

1. Ai（オートプシーイメージング）学会 理事

5. 地域・社会貢献活動

映画「雪の花—ともに在りて—」(監督:小泉堯史、(令和7年1月24日公開)(医療監修・エキストラ出演

第2回蘭医学サロン・第2回蘭学サミット(主催:福井県・蘭医学サロン)(令和7年8月3日)(福井市・福井県民ホール)

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

1. 人権擁護・倫理委員会 医学生物学系部会長(令和4年4月から)
2. 保健管理センター運営会議 委員(令和2年4月から)
3. 衛生委員会 委員(令和2年4月から)
4. 入試 救護医(令和7年1月18日、1月19日、2月25日、3月12日、11月22日)

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など

1. 蘭医学サロン (<https://sites.google.com/g.fpu.ac.jp/ranigakusalon/home>)
創設委員、事務局担当